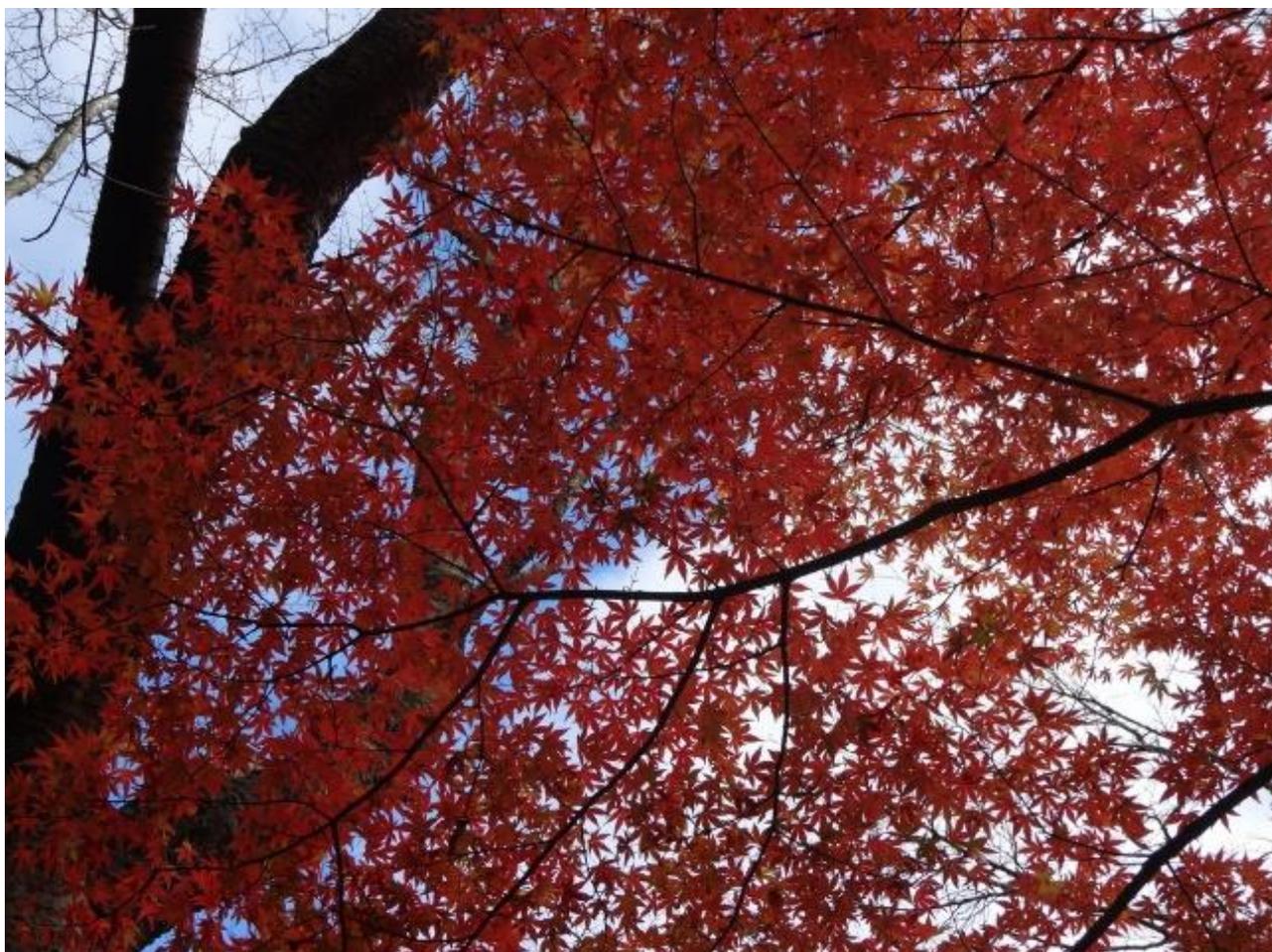


# 西大和つうしん

2017年12月号  
No.426



見事に色づいた紅葉〈2017年11月12日葛城山にて〉

奈良県勤労者山岳連盟  
西大和山の会

# 西大和つうしん

第426号(2017年12月号)

## 【目次】

2017年12月度山行計画.....	1
2018年1月度山行計画.....	2
12・1月度カレンダー.....	3
山行・行事等参加メモ.....	4
山行報告	
・教育山行 《10/14-15》 大峰山脈 大天井岳(川田・上田).....	5
・自主山行 《10/26-29》 北アルプス 下の廊下(橋本・中).....	7
・自主山行 《11/5》 紀北の山 龍門山(村田).....	9
・公開山行 《11/12》 金剛山地 葛城山(島崎).....	10
・教育山行 《11/19》 金剛山地 屯鶴峯(高岡).....	11
室内例会だより(9/27).....	12

## 2017年12月度 山行計画

### 教育部主催「教育講座」第4回

(参加者は11月29日の室内例会で募集)

【日程】座学：12月1日(金) 《講師：藤本》19:30～事務所  
実技山行：12月10日(日) 《担当：藤本(Lは別途選任する)》

【テーマ】ルートファインディング

・地図読みの基礎を復習しつつ、ルート維持・ルートファインディングの実践的な知識を学びます。

※実技山行の行き先は、参加者に合わせて座学で決定します。

※原則として実技山行のみの参加はできません。ただし、やむを得ない事情で座学の参加ができない場合は相談に応じます。座学のみ参加も歓迎します。

～伊勢市近郊で伊勢湾他の全方向展望の楽しめる山へ～

### 例会山行1 布引山地 《経ヶ峰》819m

【日程】2017年12月3日(日) (L林)

【集合】上牧駐車場 7時00分

【コース】笹子谷コース入口Pより～(30)～林道終点～(30)～北笠岳分岐～(30)～経ヶ峰～(20)～北笠岳分岐～(1h)～北笠岳789m～(40)～林道終点～(20)～コース入口P

※歩行時間：約4時間、歩行距離：約9.0km、帰宅時刻：17:00頃

～九度山の慈尊院から高野山へと続く世界遺産の道～  
約 20km の道程に建てられた 180 町の町石卒塔婆をたどりませんか

**例会山行2 紀伊山地 《高野山町石道》**

【日 程】12月17日(日) (L辻)

【集 合】南海九度山駅 7:40

【交 通】王寺 5:51⇒6:43 五条 6:46⇒7:00 橋本 7:23⇒7:34 九度山

【コース】九度山駅～(30)～慈尊院～(30)～展望台～(50)～六本杉～(50)～古峠～(1h20)～笠木峠～(50)～  
矢立～(2h)～大門～(10)～根本大塔～(1h)～極楽橋

※歩行距離：約 24km

※長距離・長時間の山行になります。十分な体力をつけて挑戦して下さい。

**2018年1月度 山行計画**

～新春、のんびり山行～

**例会山行1 六甲の山 《東お多福山》 697 m**

【日 程】2018年1月7日(日) (L島崎)

【集 合】JR王寺駅 8時20分(8:31発)

【交通/往】王寺駅(8:31)～(9:08)大阪/阪急梅田(9:30)～(9:50)芦屋川/阪急バス⑥番(9:59)～  
(10:20)東お多福山登山口バス停

【コース】東お多福山登山口バス停～(50)～東お多福山(昼食 60)～(15)～雨力峠～本庄橋跡～  
(30)～土樋割峠～(30)～東お多福山登山口バス停

※歩行時間：約2時間10分、歩行距離：約5km

【交通/復】東お多福山登山口バス停(14:02)～(14:25)阪急芦屋川(14:37)～(15:05)阪急梅田/大  
阪(15:28)～(16:03)王寺駅

～天空の空木城跡をたずねる～

**例会山行2 兵庫の山 《伊勢山》 362.8m**

【日 程】2018年1月28日(日) (L田中初)

【集 合】上牧駐車場 7時00分

【コース】ヤマザクラ広場～(西山南コース:30)～展望台～(50)～神座の窟～(15)～空木城跡～  
(15)～伊勢山～(80)～奥山～(20)～峠～(20)～ヤマザクラ広場

※歩行時間：約3時間50分

# 西大和山の会 カレンダー

2017年12月			2018年1月		
1	金	教育講座 第4回座学(藤本)	1	月	
2	土	県連・理事会、県連・初級登山学校・実技山行	2	火	
3	日	例会山行1《経ヶ岳》(林)	3	水	
4	月		4	木	
5	火		5	金	
6	水		6	土	
7	木		7	日	例会山行1《再度山》(島崎)
8	金		8	月	
9	土	運営委員会(事務所:13:00~)	9	火	県連・理事会
10	日	教育山行《ルートファインディング》(藤本)	10	水	
11	月		11	木	県連のあり方検討委員会第5回
12	火		12	金	教育講座 第5回座学(今井)
13	水		13	土	
14	木		14	日	
15	金		15	月	
16	土	西大和つうしん原稿締切	16	火	
17	日	例会山行2《高野山石道》(辻)	17	水	
18	月		18	木	
19	火		19	金	
20	水		20	土	
21	木		21	日	教育山行《雪山登山》(藤本)
22	金		22	月	
23	土		23	火	
24	日	12月度室内例会／忘年会	24	水	西大和つうしん原稿締切
25	月		25	木	
26	火		26	金	
27	水		27	土	
28	木		28	日	例会山行2《伊勢山》(田中初)
29	金		29	月	
30	土		30	火	
31	日		31	水	1月度室内例会

## 山行・行事等参加メモ

No	氏名 (入会順)	11/29	教育講座		12/3 例会1	12/17 例会2	12/24	
		室内 例会	12/1 座学	12/10 実技	経ヶ岳	高野山	忘年会	
1	(窪田)							
2	都築							
3	藤井							
4	(石田)							
5	田中悦							
6	島崎							
7	田中初							
8	村田							
9	林				LO			
10	辻					LO		
11	勝尾							
12	藤本		講師					
13	杉村							
14	高橋							
15	玉越							
16	阪口							
17	橋本							
18	今井							
19	亀高							
20	船江							
21	野路							
22	中							
23	杉森							
24	上田							
25	永井							
26	川田							
27	高岡							
	合計							
	緊急 連絡先							

L:リーダー、O:参加、◎:車

※室内例会時点での参加予定であり、その後変更されることがあります。

# 山行報告

## 教育講座第2回（テント泊）・実技山行

### 大峰山脈 大天井ヶ岳(1,348m)

【日 程】 10月14(土)～15日(日)

【参加者】 CL 野路・SL 杉森・辻・藤本・橋本・亀高・中・上田・川田（計9名）

#### 10月14日(土) 曇のち霧雨、時々雨（1日目）

【J-ｽﾀｲﾙ】 松塚ローソン〔集合〕(7:25/30)⇒道の駅吉野路黒滝(8:23/34)⇒洞川⇒〈吉野大峰林道〉⇒駐車地(9:35/47)～二蔵宿小屋〔テント設営〕(10:01/11:18)～水場(11:31/41)～二蔵宿小屋〔昼食〕(11:55/12:42)～大天井茶屋跡(13:48/52)～大天井ヶ岳(14:01/05)～二蔵宿小屋(15:00)〔泊〕

今回の教育山行の目的は「テントを張る」、「テント泊をする」、「自炊する」ということである。よって、山行は準備の段階から始まっていたと言える。共同装備であるテント一式から自炊の装備一式、そして食料の調達などに不備があってはならない。そのため、担当になった者はかなり神経を使って準備をした。初心者の私は座学で配布された資料を読み返したものの、全体のイメージが描けずザックの中のものも幾たびも出し入れし、最小限の荷物に努めなければという思いとやっぱりこれは持参しようという思いで当日の朝まで揺れていた。



当日の朝は曇り。3台の車が手分けしてメンバーを拾いながら松塚ローソンで合流、メンバー全員揃い皆の明るい笑顔を確認できたことで安堵。予定通り出発。黒滝道の駅でトイレ休憩。時間的に余裕があるため草餅を買う者、串こんにゃくを食べる者有り。リラックスしたところで出発。途中、洞川温泉の集落にある駐在所に山行計画書を提出し、さらに車を走らせていくと急に道が細くなり、山の中に吸い込まれていくような感覚になった。今、吉野大峰林道にいたことがはっきりとわかった。路肩の崩れ、山側からの小さな土砂崩れまた土砂防柵された工事現場を横目に車は上り、駐車場に到着。この頃から霧雨。ここで、食材などを手分けして持ち、二蔵宿小屋へ。非常にゆるやかな登りで行程は20分ほどであったが、私以外は皆ものすごい大きなザックが背中に覆いかぶさっており、テント泊は装備が大変であることを実感すると同時に申し訳なく思った。

すぐにテントの設営実習を藤本さんの指導のもと行う。当初、テントを3つ設営する予定であっ

たが、4人用テント1つ、6人用テント1つに変更。テントは小屋の前の広場で、まず石ころや小枝などを拾い整地、風下を入口にしてテントを張る。その後水場へ水汲みに全員で向かう。沢に到着したが思いのほか水が出ておらず、足場も良くない。リレー方式で水を集めた。これで一通りのテント泊に必要なものは揃った。

軽く昼食を取り、1名テント守りのため残り、他のメンバーは大天井ヶ岳を目指した。登り口と頂上近くは急こう配で、その間は歩きやすい。道は手入れをしていない杉木立と比較的低い広葉樹



の間を抜けていく。山の静寂の中に私達のはしゃぐ声だけがある。しかし、雨に濡れた枯葉が木の根っこ集石を隠し、足元に気を付けて登らなければならなかった。山頂に到着し早々に下山。小屋に戻りお湯を沸かしお茶を一服。

5時半ごろから夕食。なんと「すき焼き」。お肉が高級品で美味しい。この「すき焼き」の味は忘れられない味になったことは確か。「今日は特別。通常は小屋の食事はこんなことないよ。」と先輩方が口々に私に教えてくれた。美味しい食事のせいもあって皆おしゃべりが止まらず、山にちなんだ歌を歌った



りして賑わった。9時半頃就寝。テントの中は快適でお借りしていたシュラフも温かく、私は途中トイレにもいかず朝まで熟睡した。

経験豊富な皆さんは、細かい工夫が所々にされておりまた何を今すべきか何が必要かが明確でチームへの貢献度が非常に高い。そして、リーダーを中心に何よりもチームワークが重要であることを改めて思った。私もまず自分のことは自分でできるように、そして少しでもチームに貢献できるように経験を積んでいきたいと思う。（記：川田和代）



## 10月15日（日） 雨（2日目）

【J-タイム】 二蔵宿小屋(9:30)～大峰林道駐車場(9:45)＝下市温泉入浴、昼食後解散

生まれて初めてテント泊を体験した。4人用テントを初心者2人で使用。広さ約 150cm四方、高さ約 130cmで小屋泊にはない自由で野性的な空間がちょっと新鮮だった。

テント内でザックやシュラフを広げると大人4人は少々きついだろう。雨カッパ着脱、ザックの整理、片付けなども大変だろう、工夫が必要だ。

深夜、暗闇の中で雨音が「ポツポツ」「バタバタ」とテントに響く。耳慣れない雨音は得体の知れない獣の気配を思わせ、妖怪風仙人？がテントの周りにいる様な不気味さを感じる。顔を出す勇気もない。肝試しの心境だ。早く寝ないと・・・と目を閉じ、気持ちを切り替え今夜の避難小屋での豪勢な夕食、歌あり、談笑あり、皆さんとの楽しかった和やかなひと時を思いかえしてみる。シュラフは軽くて暖かい、隙間風もない、いつの間にか寝ていた。

秋雨前線停滞中のため二日目の山行は中止し、朝食後、下山までの暫し山談義、座学講習シュリング、カラビナの使い方を教わる。簡単なようでなかなか難しい、試行錯誤しながら体に覚え込ませる。

今回は初心者に考慮した優しいテント泊体験。避難小屋も使い食事の準備、作業ができて雨の中でも楽しむ事ができた。本来ならばテント内で作業全般を行う。これは経験と要領、体力が必要。全員でテント張り、全員協力で食事の支度、ひとつの空間で同じ方向を目指している連帯感。期待と不安の初テント泊は親睦も深められ有意義な体験となった。山行は解放感があっていい。小屋から駐車場まで 15分で到着。次回は晴れた日のテント泊を試してみたいと思う。

（記：上田雅子）



## 自主山行

# 北アルプス 下の廊下 (室堂~黒部ダム~下の廊下~阿曾原小屋~樺平駅)

【日 程】10月26日(木)~29日(日)

【参加者】CL 島崎・SL 野路・橋本・中 (計4名)

### 10月26日(木) 晴れ

今日は移動日。佐味田川駅を4時に出発し、一路立山駅に向かう。

10時着、室堂平は雪景色。澄み切った青い空にそびえ立つ冠雪した立山連峰。大観峰では後立山連峰も見ることが出来た。



### 10月27日(金) 晴れ

【コースタイム】 ロッジくろよん(6:00)~登山口(7:00)~内藤助谷出合(8:25)~黒部沢(10:48)~黒部沢付近昼食(11:05/30)~白竜峡(11:45)~十字狭(12:55)~S字峡(14:00)~東谷吊橋(14:40)~阿曾原温泉小屋(16:15)

紅葉真っ盛りの壮大なスケールの峡谷を歩く。断崖絶壁の登山道、小さなアップダウンを幾度も繰り返しひたすら歩いた。道はほとんどが岩稜地帯、又一人しか通れない狭い道もあり慎重に譲り合いながら歩く。しかしながら道は本当に整備されている。階段、梯子、狭く危険なところには鉄線の手すりが施されて

いて余裕をもって歩けた。昨日の室堂ターミナルの登山相談所でのお話を思い出し、色んな方々の御蔭でこのような素晴らしい山行が出来るのだと感謝の気持ちで一杯になった。

渡渉、雪渓歩き、滝にも打たれようやく小曾原温泉小屋に到着。名物の温泉に入りに行く元気はなかったが、無事到着しホットした(2人に1つの布団だった)。狭く切り立った峡谷。色づく木々を縫うように流れ落ちる水は、谷底で白い水しぶきを上げながら勢いよく流れ、穏やかな水流の水はエメラルドグリーン。本当に見ごたえのある絶景だった。



※反省：登山口を下見しておこうと、トロリーバス構内入口付近で係の人に尋ねると、「黒部ダム駅を通り進むと登山口に出る。直ぐわかる」と聞き、下見に行かなかった。当日駅にたどり着けなく、出口が解らず少し迷ってしまい時間のロスとなる。近くの出口から出て1名付近を見に行き登山口に出た。

## ※その他報告

### 1. 登山届

- 室堂ターミナル内「入山相談所」に提出。
- 道は点検整備しているので危ないところはないとの事。
- 昨日「内臓助谷出合」で道を間違い、黒部ダムまで引き返したが21時頃になり、すでにトロリーバスの構内の扉が閉まっていたので野営した人がいた。くれぐれも注意との情報を頂いた。
- 「ヘルメットはいらぬ」との事。ただ95%くらいの方は着用されていた。

### 2. 宿について

- ロッジくろよん：場所的に電気は心配ないと思っていたが、自家発電で21時以降、各部屋入口の小さな電球のみのため、ヘッドランプ必携。
- 阿曾原温泉小屋：毎年7月～10月迄の営業。建物は豪雪地帯のため解体される。小屋は少し寒かったが水は豊富。おトイレも綺麗で思っていたより快適だった。夕食後、DVDを見ながら小屋の歴史やこの地を守るための苦労話等話された。小屋の方々は親切、ご主人は常に笑顔で接してくださり、はや立ちする登山者を見送ってくださる。「ありがとう」の言葉を交し出発、とても気持ちの良い小屋だった。

(記：橋本紀子)

## 10月28日(土) 薄曇り

【J-タイム】阿曾原温泉小屋(4:50)～折尾谷(6:40)～太鼓岩(7:55)～志合トンネル入口(8:10)～出口(8:20)～樺平上部(9:50)～樺平駅(10:45/11:20)～宇奈月温泉駅(12:4/13:16)～立山駅(15:56)

前日に小屋のご主人より、「樺平駅は観光客や登山客で混雑するので、11時には着かないとトロッコ電車に乗るのに待つことになり、立山駅に着くのが夕方になる」とのアドバイスを受けました。朝まだ暗い4時50分に出発。ヘッドランプの明かりを頼りに、水平道までは急な上りで汗をかきながら上り。5時40分頃には空が白み始めて山影も見え、ヘッドランプを消す頃には水平道に出る。昨日と違って青空ではないが、遠くの雪山も見通せるますますの天気の中、樺平駅を目指して進む。志合のトンネル入口に着く、ここはヘッドランプを装着して入る。足元は水溜りで深いところもあり、靴が濡れる心配があり飛び石を探しつつ、でこぼこの横壁に肩をぶつけながら進み10分ほどで出口。標高が下がるほど鮮やかになる紅葉を観ながら、何度か支流の渡渉や下の谷底がよく見える吊橋を渡る。もうないと思っていたが1回だけ流水の下をくぐることもあり、雨具をつけて通る。ようやく樺平上部に至る。ここからは名残惜しいが、下の廊下とお別れとなる。けっこう急な下山道を丸太の梯子や鉄網の階段が繰り返す。下りに入ると樺平駅から登ってくる人も多く行き違いながら樺平駅到着。全員でハイタッチ！



駅は観光客で賑わっていましたが、なぜだか毛糸の帽子、子どもは毛布を巻いており、重装備？ トロッコ電車に乗って分かりました。美しい紅葉を眺めつつも風に吹かれながらのオープン車両はとても寒かったです。(記：中昌子)

## 自主山行（プラチナ会）

### 紀北の山 龍門山 755.3m

【日 程】11月5日（日） 晴れ

【参加者】L 島崎・SL 藤井・村田・林・勝尾・杉村・亀高（計7名）

【コース】田代登山口(8:45)～塵無池(9:25)～田代峠(10:20)～磁石岩(10:52)～龍門山頂(11:08/47 昼食)～蛇紋原(12:02)～明神岩(12:13)～中央登山口(13:05)→田代登山口(13:23)

田代登山口への集落を抜ける道は、ドライバーさんにずいぶん苦勞かけてしまった。急なうえに狭い。往復とも一台も離合する車がなかったのは、ラッキー。右回りで田代登山口からグルリー周するなじみのコース。とっつきからえぐれた谷の底を這ってたどる急登、乾いていたのは助かった。

めずらしく“ちりなし池”が結構水をたたえていた。池のまわりには大きなホオノキの葉が落ちてびっしりうめており、裏返って白い様はちょうど水芭蕉が群れて咲いている



ように思えた（ま、そんなことはあり得ないのですが・・・）。

峠からは右の尾根道へ。道幅もひろく、緩やかな傾斜となり磁石岩へ、やはり方位は狂っている。ほどなく山頂、日向ぼっこしながら、足元のゆったり流れる紀の川、和泉山脈みをながめて、しばし昼食タイム。

山頂からは、雑木林の中、不揃いの石がゴロゴロしている歩きにくい川底状態の道を下って蛇紋原、明神岩でスリリ

ングな展望を楽しみ、ひたすら下ると田代登山口から上がってくる林道に出会う。と、そこは中央登山口。トントントンと舗装された道をくだって駐車場の田代へ。時間があつたので、帰路それぞれ、主夫、主婦に戻り、市場で買い物を楽しんだ。紅葉には少し早い、小春日和の穏やかな一日。

久しぶりのプラチナ山行、きっちり資格にはまっているのは何人？でしたっけ。

（記：村田澄子）



## 例会山行1（公開山行）

### 金剛山地 葛城山 959.2m

【日 程】11月12日（日） 晴れ

【参加者】L 橋本・ASL 野路・BSL 亀高・藤井・田中悦・島崎・田中初・村田・辻・杉村・阪口・中・川田・高岡（14名）

【コース】上高地(6:55)～焼岳登山口(7:45)～焼岳小屋(10:40/11:00)～焼岳北峰(13:10/13:25)～尾根下降地点(13:30/14:10)～中の湯焼岳登山口(16:50)～中の湯温泉(17:20)

今回は公開山行だが、一般公募は今年から中止し、会の仲間14名での山行となる。A・B班に分かれて、北尾根コースを登る。櫛羅の滝コースは先般の台風で荒れているとのこと。岩場を登ったりしながら、登ってゆくとだんだんと木々の紅葉が目立ち、ダイトレ分岐からは木の階段を数回登ってゆすが、もみじの紅葉も楽しみ見ながら登り、山頂へ到着。

風を避けて昼食タイム。手先が冷たい。今年度初めてラーメンを食べる。やはり寒い時期は丁度いいな……。暖かいコーヒーを飲んで温まって下山開始。同じコースを下る。下りの途中からどんどんと登ってくる人が意外に多い。それも子供連れや若い人が多い。

下りはかなりの急勾配を下ってゆく感じがする。ア・イ・ウ・エ・オの表示を見ながら、下って無事駐車場に到着。

天気も良く、快適な、ゆっくり山行でした。

（記：島崎隆）



## 第3回教育講座（歩行技術）・実技山行

### 金剛山地 屯鶴峯

【日 程】11月19日（日） 晴れ

【参加者】L 野路・SL 橋本・辻・中・川田・高岡（計6名）

【コ-スツィム】 屯鶴峯駐車場(10:00)～歩行訓練場所到着(11:00)～歩行訓練開始(11:28/12:20)～昼食(12:30/13:30)～ツェルト設営練習(13:50/14:30)～屯鶴峯駐車場(14:40)

先日の教育講座第3回「歩行技術」を受け、今日は屯鶴峯でアイゼンの歩行訓練とツェルトの張り方の練習。練習場所の選定後、アイゼンの装着の仕方、歩き方を体験（フラットフットイング・急傾斜）真っ直ぐに登り、真っ直ぐに下る、斜めに登る、斜めに下る、トラバースなどの歩き方の練習を行った。装着後はとても歩きづらかったが徐々に慣れ始めて歩けるようになった。急傾斜ではロープを張って頂き、簡易ハーネスを使いロープをもつての登り下り、ロープの結び方も体験した。

平らな場所に移動して、ツェルトの張り方の練習。基本の張り方（ペグ、ポール使用）、ストックを利用したの張り方、ポールが無い場合の木に吊



るしての張り方などを体験。この時もロープの結び方を知っておくと、どんな状況に於いても活用ができ、ロープの重要性を知りました。ロープは「すぐに結べ、すぐに解くことができ、張調整ができる」が大事であることなど、今日はたくさんの事を学びましたが、日々の家庭生活の中の於いてもロープの結び方を活用し、常に触れる努力をしていないと、いざという時すぐ使えないなあ～と、実感しました。本日、教育座実技山行に同行して頂き、ご指導くださった皆様ありがとうございました。午後からの冷たい風にリーダー手作りの豚汁、とっても美味しかったです。ご馳走様でした。（記：高岡典子）



## 室内例会だより

【日時】2017年10月25日(水) 19:30~21:20 事務所

【出席者】都築、藤井、田中悦、島崎、田中初、村田、辻、勝尾、藤本、杉村、阪口、橋本、亀高、野路、中、杉森、上田、永井、川田、高岡

### 1. 山行計画

- 10月29日(日) 例会山行2(県連交流山行)兵庫の山《小野アルプス紅山》……………L 杉森
- 11月12日(日) 例会山行1(公開山行)金剛山地《葛城山/天狗谷コース》……………L 橋本
- 11月26日(日) 例会山行2 六甲山系《六甲縦走中コース》……………L 亀高
- 12月3日(日) 例会山行1 布引山地《経ヶ峰・819m》……………L 林

### 2. 教育部主催「教育講座」第3回【テーマ】歩行技術

【日程】座 学：11月10(金) 講師：藤本 19:30~事務所

実技山行：11月19(日) L：野路(参加者に合わせて行先決定します)

### 3. 山行報告

- 9月23~24日 例会山行2(テント泊)八ヶ岳《赤岳2,899m》L 亀高……………7名
- 10月1日 例会山行1 柳生街道《滝坂の道》L 村田……………17名
- 10月7~10日 自主山行《笠ヶ岳・双六小屋・鏡平山行》L 藤井……………4名

### 4. 連絡その他

#### ★県連関係

- ・県連理事会主催六甲山山体カトライアル(詳細/県連ニュース11月号記載)

自分がどのレベルの山に行ける基礎体力があるかを評価します。

【日程】11月18日(土) 【コース】阪急芦屋川~六甲最高峰

参加希望者は11月7日 18時迄に藤本さんに連絡してください。

- ・「県連のあり方検討委員会」からの報告

- ①3回開かれた。来年度の県連の体制が大きく変わる可能性がある。極端に縮小された場合は、県連行事をなくし新特別基金のための機関となり、理事会ではなく各会から会長が集まり連絡会となる可能性もある。次回検討委員会でゼロベースで各行事等の検討を行う。
- ②行事については各会からの要望による。本会9月27日室内例会時に行った県連行事(教育、訓練等)の継続希望数等を踏まえて検討される予定。希望した以上はそれなりの対応が必要。
- ③クリーンハイクについては、労山活動として各会で継続することになると考えられる。
- ④交流山行については、未検討
- ⑤体制や行事については年内にはほぼ決定されるものと思われる。

#### ★本会から

- ・「西大和つうしん」12月号は都合により製本できないため、会報部より原稿が配信されるのでA4サイズで印刷し、11月29日の室内例会に持参してください。
- ・会長より「例会山行1は、リーダーとなる方が行きたい山ではなく、会員が誰でも参加できる山を計画してください。又親睦を兼ねた山行なのでできる限り参加してください。」
- ・二上山自主山行について…山に登れる体力づくり目的で月2回山行を計画する。  
【山行時間】午前中(昼食なし) 【リーダー】中・橋本  
計画詳細はメールにて配信されるので参加してください。
- ・例会山行時に自主山行を行う事について  
9月27日室内例会において、運営委員会で決定された経緯及び決定内容を正確に伝えられなかったため詳しく決定の経過報告がされた。前回の室内例会に出された意見を踏まえ12月9日の運営委員会にて再検討する。
- ・石田さんよりヘルメットを寄付して頂きました。備品として使わせて頂きます。
- ・12月室内例会、忘年会について

【室内例会】12月24日(日)15:00~ 【忘年会】17:00~(場所未定) 幹事/辻

(記：橋本紀子)

# 西大和つうしん

第 426 号 (2017 年 12 月号)

2017 年 11 月 29 日発行

発行責任者 島崎 隆

編集責任者 亀高 茂

奈良県勤労者山岳連盟 西大和山の会  
〒636-0003 奈良県北葛城郡王寺町久度 1-9-32  
窪田友男方

TEL・FAX 0745-72-2876

[http : //www.nishiyamatoyama.com/](http://www.nishiyamatoyama.com/)